

御 拶 挨

また本會主幹の任に就くことになりました。數へて見ると、これで三回目の就任であります。豫て御懇意の皆さまへ更つた御挨拶も申上げませぬが、本會のために倍舊の御好誼を願ひます。

堀前主幹が此の六箇年の長きに亙つて、本會のために盡された御功績に對しては、一々擧げて數ふるに違あらず、會員諸君と共に深く感謝致すと共に、今回の榮轉に伴ふて主幹を辭せられたことを愛惜にたえません。併し、堀教授が本會の重要幹部として、本會のため、我國幼兒教育界のため御盡力下さることは、將來も亦少しも變らないのでありまして、私達は敢て送別するといふような言葉を申しません。私が、主幹の任を辭してゐた間も、本會と斯界への關心を一日も絶たなかつたと同じように、堀教授も亦、本會と斯界への關心を今後一日も捨てられることはないと思つて信じてあります。

日に／＼發展充實を進めつゝある我國幼兒教育界のために、會員諸君の一層の御健康を祈ります。

昭和五年十一月

倉 橋 惣 三